

2020年4月27日

目黒区長  
青木 英二樓

#### 公開質問状

去る4月19日投開票の目黒区長選挙において、青木英二候補の「選挙公報」を見て仰天しました。「共産の手から守ります」が、第一に掲げるあなたの政策ですか。

その品性のなさ、不寛容に恥ずかしさを覚えました。過去の革新都政誕生を阻むためになされた「都庁に赤旗が立つ」の言葉を思い出しますが、実に前近代的ヘイトだと思えます。

そのことに疑問を持った区民は少なくないと思いますが、以下の質問に答えて下さい。

1. 青木区長が「守る」とされる相手は誰ですか。共産の手から、「誰を」「何を」守ってくれるのですか。

2. 「共産」というものから守るためにあなたはどのような手法をとるのですか。共産=共産党であるならば、巷では「福祉や平和を守るために頑張っている」とイメージしている方もおりますが、そうした区民の何割かの方には、どう説明されますか。

3. 小泉政権あたりから横行している「抵抗勢力をつぶす」などと攻撃的な言葉が使われ、在日外国人などへのヘイトとなって拡がる傾向が強まっていますが、あなたは区長としてそのようなヘイトを無くして行くお立場ではありませんか。違いますか。ヘイト禁止条例のようなものを作るお考えはありませんか。

4. 都の、人権を守る立場からの「ヘイトを無くそう」といったポスターも庁内に貼ってあるようですが、青木区長は、そのヘイトとも言えるスローガンを撤回するおつもりはありませんか。

5. 青木英二区長は、16年も約25万区民の長として、約1000億の区民の予算を執行する立場でした。それは公平で弱者の視点少数の意見にも耳を傾ける必要があるのではないかと考えます。その長が一つの党(都議定数3の内1を占める政党)にレッテルを貼り何かを仕掛けるとする不寛容な排除の論理を振り回すようでは、区民に信頼される区長にはなり得ないと思えます。

誰かを、何かを守ろうと、そのために排除をしようとした、ヘイトを浴びせた人に謝罪をすべきだと思います。国政野党各党と生活者ネットが応援した山本ひろ子候補なのか、共産党なのか分かりませんが、その対象とした人に長であるならば当然に、謝罪をすべきだと思います。いかがですか。

以上5点を5月13日迄にご回答をお願いいたします。

区民有志 約10人になります。